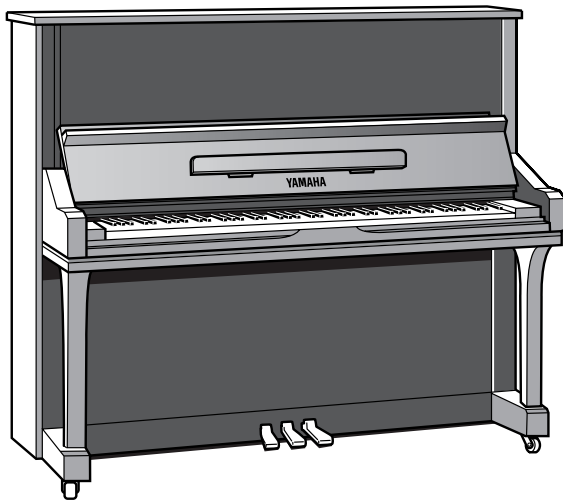


取扱説明書

お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

アップライトピアノ グランドピアノ



- ◆ このたびは、ヤマハピアノをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書は大切に保管し、使い方が分からない時や調子の悪い時にお役立てください。
- ◆ お買上げいただいた際、保証書は必ず「販売店名、お買上げ日（納入日）」などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。
- ◆ 製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は製品本体と保証書の製造番号が一致していることをお確かめください。
- ◆ ピアノの製造時期については、商標名、機種名及び製造番号をお調べの上、お買上げのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。

目次

1 安全のために必ずお守りください	2
安全へのこころがけ	2
2 各部のなまえとはたらき	6
3 よりよくご活用いただくために	10
納入点検調整について	10
ピアノには調律が必要です	10
定期調律のおすすめ	10
設置と取り扱いについて	11
ご家庭でのお手入れについて	14
4 音のマニュアル	15
音への思いやり	15
守りたい音のエチケット	16
具体的な防音・遮音のヒント	17
5 困ったな / 故障かな？と思ったら	18
6 保証とアフターサービス	19

付属品

- ◆ 取扱説明書（本冊子）
- ◆ ブックレット
 - ・保証書
 - ・アフターサービスカード
- ◆ キーカバー
- ◆ 拭布
- ◆ 鍵（一部の機種のみ）

※サイレントピアノ（消音）・ディスクラピア（自動演奏）には、この他にも付属品があります。別冊の取扱説明書にてご確認ください。




保証書別添

安全へのこころがけ

ピアノは大きくて重いものですので、室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にお使いいただくための注意をお願いします。小さなお子様には、はじめにご家族の方から教えてあげてください。

■ 記号表示について

取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じる事が想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。よくお読みいただき、安全にお使いください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、命に関わる、または重傷を負う事故が想定される内容です。

設置上の注意



必ず実行

平らで丈夫な床に設置する

段差のある床や強度不足の床に設置すると、不安定になったり転倒したりするおそれがあります。ピアノは大きさによって重量が違います。ご購入いただいた機種の種類に応じて、設置場所にご配慮をお願いいたします。ピアノのおよその重量は下記のとおりです。

アップライトピアノ	グランドピアノ
190kg～280kg	250kg～500kg



必ず実行

アップライトピアノは背面を壁側に向けて設置する

アップライトピアノの重心は後ろ寄りにあります。地震などの際にピアノが転倒してけがをするおそれがあります。



必ず実行

すべてのキャスターについているストッパーを確実に締める

キャスターにストッパーがついている場合は、移動するとき以外はずべてのストッパーが確実に締められていることを必ずご確認ください。ストッパーがゆるんだ状態のままでは、ピアノが不意に動いて重大な事故につながるおそれがあります。

取り扱い上の注意



禁止

お子様だけの移動は絶対に行わない

ピアノはたいへん重量がありますので、移動には危険が伴います。床面のわずかな凹凸に車輪が引っかかり、ピアノが破損したり、転倒したりするおそれがあります。アップライトピアノでは、屋根付近を後方に押ししたり、鍵盤を持ち上げるような力を加えたりしないでください。バランスをくずし、ピアノが転倒してけがをするおそれがあります。



禁止

地震のときには、ピアノに近寄らない

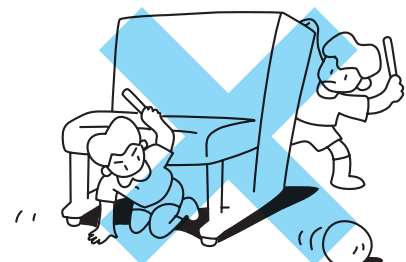
地震による強い揺れで、動いたり転倒したり、ピアノの全体または部品が破損・脱落してけがをするおそれがあります。



禁止

ピアノのまわりで遊ばない

ピアノに登ったり下で遊んだりしないでください。滑り落ちたり頭をぶつけたりしてけがをするおそれがあります。また、ピアノの転倒によりけがをするおそれがあります。



使用上の注意



必ず実行

鍵盤蓋の開閉は両手で静かに行う

鍵盤蓋を開閉する際、手指を挟んでけがをするおそれがあります。自分または周りにいる他の人の手指を挟まないように注意してください。



注意

他の人が周囲にいる場合は、他の人が鍵盤蓋に触れないように注意してください

鍵盤蓋が倒れ、手指を挟んでけがをするおそれがあります。



禁止

ピアノに寄り掛かったり腰掛けたりしない

ピアノが転倒したり、不意に動いたりしてけがをするおそれがあります。また、鍵盤蓋の動きに不具合が生じる原因になります。



必ず実行

屋根の開閉は操作手順に沿ってゆっくり静かに行う

屋根の開閉時に手指を挟んでけがをするおそれがあります。特にグランドピアノの屋根は重いので十分に注意してください。

☞ 操作手順は 8 ページをご覧ください。



必ず実行

グランドピアノの屋根の開閉は必ず大人が行う

グランドピアノの屋根は重いので、お子様が行った場合、屋根が落下してけがをするおそれがあります。



禁止

グランドピアノの屋根が開いているときは下に頭や体を入れない

万が一、屋根が落下した場合に頭や体を挟んでけがをするおそれがあります。



禁止

グランドピアノの屋根が開いているときは突上棒に触れない

突上棒が受皿から外れ、屋根が落下してけがをするおそれがあります。

他の人が周囲にいる場合は、他の人が突上棒に触れないように注意してください。



椅子について



禁止

椅子で遊んだり踏台にしたりしない

転倒したり壊れたりしてけがをするおそれがあります。



必ず実行

高さ調整は椅子から降りて行う

上下する部分が急に動いて手を挟むなど、けがをするおそれがあります。



禁止

椅子のナットがゆるんだままで使わない

椅子が壊れて、けがをすることがあります。ときどき点検して、ゆるんでいる場合はナットを締め直して使用してください。



注意

背もたれがない椅子では小さなお子様の後方への転落に注意してください

小さなお子様はバランスをくずし、椅子から転落することがあります。特に背もたれがない椅子では後方に転落し、大きなけがをするおそれがあります。

異常に気づいたら



禁止

故障状態を放置しない

ピアノや関連備品の故障状態を放置すると思わぬ事故が発生することがあります。

鍵盤蓋の「ソフトランディング機構」が劣化や故障していると勢いよく蓋が閉じ、手指を挟むことがあります。また、ピアノカバーなどが破れていると、鍵盤蓋や屋根を開閉するときにひっかかり、蓋や屋根が落下してけがをするおそれがあります。

故障に気づかれたら直ちに、お買い上げ店に点検・修理をご依頼ください。(※ ピアノカバーの補修は承っておりません。)

安全のために必ずお守りください



注意

誤った取り扱いをしたときに、軽傷を負う事故、または物的損害などが想定される内容です。

設置上の注意



注意

床を傷付けたり、汚したりしないように注意してください

ピアノを直接、床に設置するとキャスターで床を傷付けたり、汚したりすることがあります。キャスターを受ける器具として「インシュレーター」(アップライト用、グランド用)、「敷板」(アップライト用) <別売>のご利用をお勧めします。

取り扱い上の注意



禁止

ピアノの上に物を置かない

物が落ちて壊れたり、けがをしたりするおそれがあります。



禁止

ピアノの中や下に手や足を入れない

内部の機構部品などで手指や足にけがをするおそれがあります。



必ず実行

移動の際は専門家に相談する

ピアノは重量物です。移動の際に腰を痛めたり床を傷つけたりするおそれがあります。



禁止

点検の際、ピアノから外した部品類に触れない

点検の際にピアノ技術者が外した部品類やピアノの内部機構に触れるとけがをするおそれがあります。

使用上の注意



禁止

鍵盤蓋を閉めるときは無理な力を加えない

鍵盤蓋は「ソフトランディング機構」により、手を放してもゆっくりと閉まるようになっています。

閉めるときに鍵盤蓋に無理な力を加えると「ソフトランディング機構」が破損し、手指を挟んでけがをするおそれがあります。

「ソフトランディング機構」の特性により、室温が高いときには鍵盤蓋の閉まる速さがやや速く、室温が低いときにはやや遅くなる傾向があります。

☞ ソフトランディング機構については6ページをご覧ください。



禁止

レバー式の「ソフトランディング機構」で遊んだり、無理に力を加えたりしない

一部の機種では、鍵盤蓋の左側にレバー式の「ソフトランディング機構」が設置されています。

レバー式の「ソフトランディング機構」で遊んだり、無理に力を加えたりすると、機構が破損しけがをするおそれがあります。



注意

鍵盤蓋を閉じる際、鍵盤蓋奥の隙間に手指を挟まないよう注意してください

一部の機種では、鍵盤蓋を開いたとき、奥に隙間が生じます。

鍵盤蓋を閉じる際、この隙間に手指を挟んでけがをするおそれがあります。



必ず実行

グランドピアノの譜面台の取扱いは操作手順に沿ってゆっくりと行う

譜面台の手前側で手指を挟んでけがをするおそれがあります。

☞ 操作手順は8ページをご覧ください。



必ず実行

アップライトピアノ(一部の機種)のスライド式譜面板・トップサポートの開閉は、操作手順に沿ってゆっくりと行う

スライド式譜面板を開閉する際、両側と下側は指を挟んでけがをするおそれがあります。

また、トップサポート(屋根)を開閉する際、指を挟んでけがをするおそれがあります。

☞ 操作手順は9ページをご覧ください。

椅子について



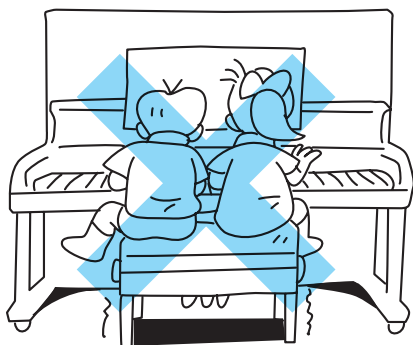
必ず実行

椅子を移動するときは注意して行う
転倒してけがをするおそれがあります。



禁止

二人以上で腰掛けない
腰掛けたときの姿勢や椅子に無理が生じ、けがや事故の原因になります。



必ず実行

椅子は水平で平らな床面で使用する
平らでない床面にて使用すると不安定になり転倒しけがの原因になります。

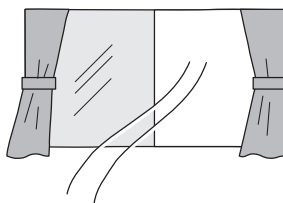
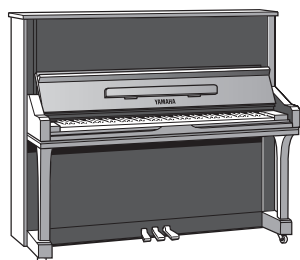


注意

お部屋の換気について

ピアノに使用している木製部材は環境への影響を配慮しておりますが、微量ながらホルムアルデヒドが発散します。室温・湿度が高い場合や長時間換気しない場合、室内のホルムアルデヒドが増加することがあります。人によっては異臭を感じたり、目がしみたりする場合があります。つきましては以下の点にご注意をお願いします。

1. 日常から換気を行ってください。
2. 高温下で長期にわたって部屋を閉め切っている場合は、換気を行い、室温を下げてからご使用ください。
3. 部屋の容積が小さい場合は、特に換気が重要です。



アップライトピアノ

※品番によって形状・仕様が異なる場合があります。

製造番号

屋根を開けてご覧ください。

スライド式譜面板（一部の機種のみ）

楽譜立てに使用します。
起こすとトーンエスケープにより、音が前方により良く出ます。

☞ 操作手順は 9 ページをご覧ください。

保証書（ブックレット）はピアノの内部のホルダーに保管されています。屋根を開けると取り出すことができます。

屋根

鍵盤蓋

一部の機種では鍵盤蓋の手前側が折りたためます。使用時にはたたんで、また閉じる場合には起こしてから鍵盤蓋を閉じます。

トップサポート

（一部の機種のみ）
トップサポートを使用して屋根を開けると、音が前方により良く出ます。

☞ 操作手順は 9 ページをご覧ください。

譜面板

起こして楽譜立てに使用します。鍵盤蓋を閉める前に最後まできちんと折りたたんでください。

マフラーレバー（一部の機種のみ）

レバーを手前に引くと弱音状態となり、レバーを押すと解除されます。

ソフトランディング機構鍵盤蓋

鍵盤蓋の急激な動きをやわらげます。鍵盤蓋は両手でゆっくりと確実に操作してください。一部の機種では、鍵盤の左側にレバー式の機構が設置されています。

※ソフトランディングはヤマハ株式会社の登録商標です。

鍵盤

キャスター

ペダル		
左	ソフトペダル	ペダルを踏み込んでいる間、弾いた音を弱くします。（弦を打つハンマーの運動距離を短くします。）
中央	マフラーペダル	ペダルを踏んで左にスライドしますと弱音状態に固定されます。解除はペダルを右にスライドして元に戻します。（薄いフェルトを介してハンマーが弦を打つことにより、音量が減少します。）一部の機種では、ソステヌートペダル（グランドピアノのペダル参照）。
右	ダンパーペダル	ペダルを踏み込んでいる間、止音機構（ダンパー機構）が解除され、弦の振動を止めずに音を響かせることができます。

グランドピアノ

保証書(ブックレット)はピアノ下部または内部のホルダーに保管されています。

屋根

ピアノから音を大きく出したい場合、屋根を開けることができます。

☞ 操作手順は 8 ページをご覧ください。

ノックピン (一部の機種のみ)

屋根と本体の位置を合わせます。

突上棒

突上棒の長さにより屋根の開き方を変えられます。

☞ 操作手順は 8 ページをご覧ください。

製造番号

譜面台の下をご覧ください。

突上棒ストッパー

☞ 操作手順は 8 ページをご覧ください。

キャスター

機種によってはキャスターの大きさ、形状が異なります。
キャスターがないものもあります。
キャスターにストッパーがついている場合は、移動するとき以外はすべてのストッパーを確実に締めてください。

譜面台

楽譜立てに使用します。

☞ 操作手順は 8 ページをご覧ください。

鍵盤蓋

鍵盤

YAMAHA

ペダル

ペダル		
左	ソフトペダル (シフトペダル)	ペダルを踏み込んでいる間、弾いた音の音色、音量を変化させます。 (鍵盤および弦を打つハンマーの位置が少し移動します。)
中央	ソステヌートペダル	鍵盤を押した状態でペダルを踏み込むと、指を離しても、その音だけを止めずに響かせておくことができます。
右	ダンパーペダル	ペダルを踏み込んでいる間、止音機構(ダンパー機構)が解除され、弦の振動を止めずに音を響かせることができます。

各部のなまえとはたらき

グランドピアノ屋根開閉の操作手順

★ グランドピアノの屋根を開閉する場合は、以下の手順と注意に従って、必ず大人が行ってください。

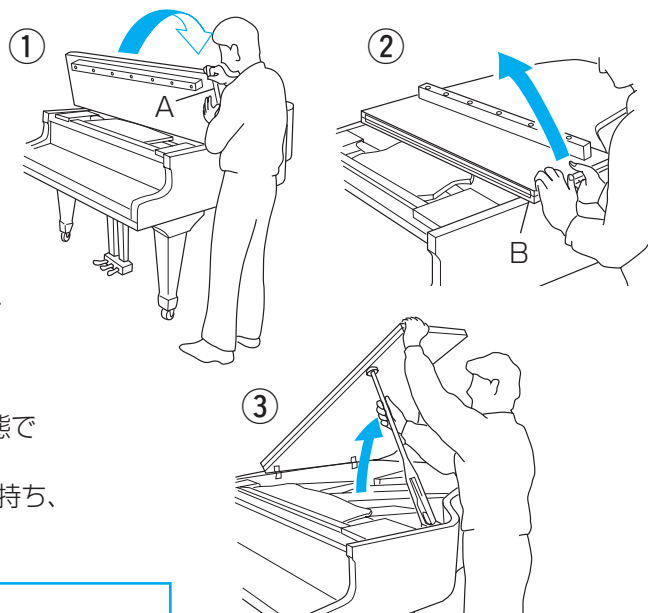
グランドピアノの屋根を開いて使用する場合は、次の2つの方法より選ぶことができます。

前の屋根だけ開ける場合

- ① 屋根の右側手前（高音側 A 部）を両手で持ち上げ、後方に折り返して、後ろの屋根の上に重ねる。

前と後ろの屋根をともに開ける場合

- ② ①により前の屋根を開き、屋根を2枚重ねた状態で右側手前（高音側 B 部）を両手で持ち上げる。
- ③ 持ち上げた屋根を片手で支え、他の手で突上棒を持ち、突上棒の先端を屋根裏面の受皿に入れる。



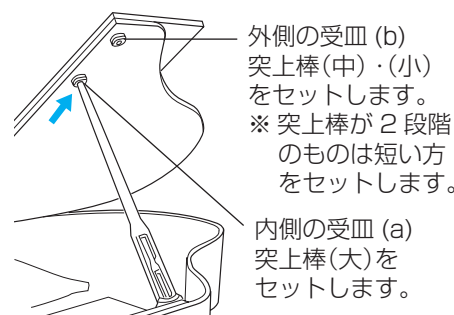
⚠ 警告 受皿は正しく選んでください

屋根の裏面の受皿は2ヶ所あります。内側の受皿 (a) を最も長い突上棒に、外側の受皿 (b) を他の短い突上棒に使用します。

※ 間違った受皿を使用すると突上棒が外れやすくなり、屋根が落下しけがをするおそれがあります。

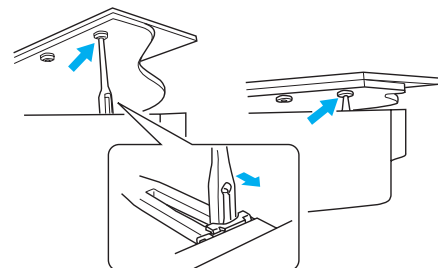
突上棒付根には、突上棒を起こしすぎないようにストッパーがついています。

※ 突上棒を起こしすぎると、突上棒にキズが付いたり、ストッパーが変型したりしますのでご注意ください。



⚠ 警告 突上棒の先端は受皿の中央に確実に入れてください

突上棒の先端が受皿より外れていると、支えが不安定となり屋根が落下してけがをする場合があります。



屋根を閉じる手順は、開ける場合の逆の手順で行います。

グランドピアノ譜面台の操作手順

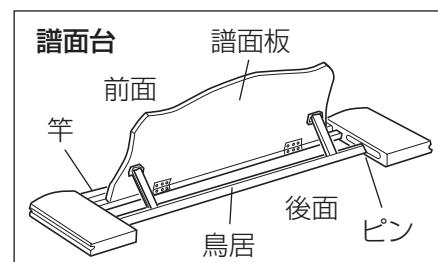
譜面板を立てる場合・調整する場合

- ① 両手で竿を持って、譜面板が完全に屋根の下側から出るまで手前側へ引き寄せます。

⚠ 注意 竿を持つときは、親指を竿の下側に入れないでください。

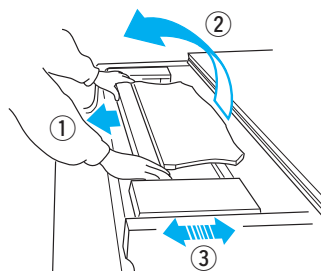
手指を挟んでけがをするおそれがあります。

- ② 譜面板の奥側または横側を持って、譜面板を立てます。
・ 角度は5段階に調節できます。



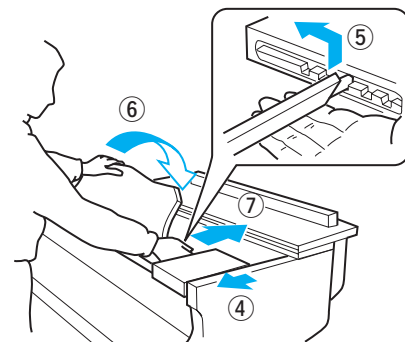
- ③ 譜面台は押し込んだときにストッパーで止まるところが、通常のご使用位置です。手前に位置を調整する場合には、譜面台が傾斜しない範囲で使用ください。

※引き出しすぎると譜面台が傾いたり、鍵盤蓋と当たったりすることがあります。



譜面板を閉じる場合

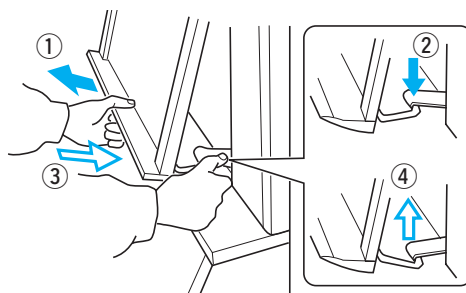
- ④ 両手で竿を持って、譜面台を手前に引き寄せます。そのまま譜面板を倒すと、屋根とぶつかってしまうことがあります。
 - ⑤ 片手で譜面板を持ち、もう一方の手で鳥居を軽く持ち上げて鳥居の両端のピンを溝から外します。
 - ⑥ 鳥居を持ち上げたまま、譜面板を完全に倒します。
 - ⑦ 竿を押して、譜面台が止まるところまで奥側へ押し込みます。途中で止めると前の屋根を閉める際に、屋根とぶつかってしまうことがあります。
- ※一部の品番では、前後の調整はできません。



アップライトピアノのスライド式譜面板の操作手順(一部の機種のみ)

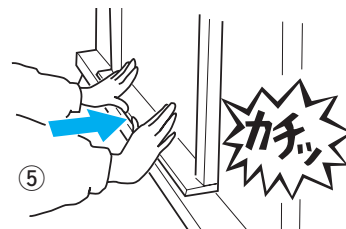
スライド式譜面板を開ける場合

- ① 両手で譜面板の先端を持って、手前へ引き出します。
- ② 片方の手を離して、スライド式譜面板の横側の金具を押さえてロックします。



スライド式譜面板を閉める場合

- ③ 片方の手で、譜面板の先端を持ちます。
- ④ もう一方の手で、スライド式譜面板横側の金具を引き上げてロックを外します。
- ⑤ 譜面板の先端を両手で持って、カチッと音がするまで押し込みます。



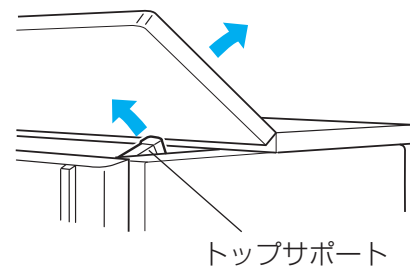
注意 手指を挟まないように注意してください

スライド式譜面板の開閉時に手指を挟んでけがをするおそれがあります。

アップライトピアノのトップサポートの操作手順(一部の機種のみ)

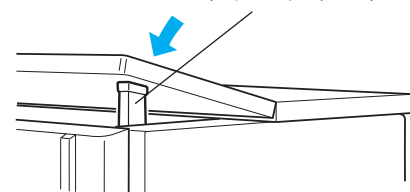
トップサポート(屋根)を開ける場合

- ① 両手で屋根の先端を持って、少し上に開きます。
- ② 右手を離し、右手でトップサポートを上げた後、静かに屋根を下ろします。



トップサポート(屋根)を閉める場合

- ③ 左手で屋根の先端を持って、少し上に開きます。
- ④ 右手でトップサポートを下ろします。
- ⑤ 屋根の先端を両手で持って、閉じます。



注意 手指を挟まないように注意してください

トップサポート(屋根)の開閉時に手指を挟んでけがをするおそれがあります。

3 よりよくご活用いただくために

ピアノをよりよい状態でお使いいただくためには

- ① ピアノ調律技術者による定期的な点検調整
- ② ご家庭での良好な環境
- ③ 日頃の正しい取り扱い・お手入れ

…が大切です。

納入点検調整について

ピアノをお買上げいただきますと、納入後まもなく販売店よりピアノ調律技術者が訪問し、以下の作業を行います。

- ♪ 納入したピアノの機能点検
- ♪ 納入したピアノの調律・調整
- ♪ ピアノのメンテナンス（保守・管理）とアフターサービスについてのご案内

ピアノには調律が必要です

ピアノは弦楽器の仲間で、他の弦楽器と同様にチューニング（調律）が必要です。

ピアノの場合、他の弦楽器と比べるとはるかに強い力で弦が張られています（弦 1 本に 90kg、全体でおよそ 20 トンの張力）。

このためチューニングは、ギターなどと異なり調律技術者（調律師）と呼ばれる専門技術者が行います。

また、調律の他にも、快いタッチを得るためのアクションやペダルの調整、美しい音を生むハンマーの調整が大切です。これらの総合的なピアノの調律・調整を定期的に行い、使用による消耗や、温・湿度の影響による変化を正しく整え直すことは、ピアノを良い状態で長年ご使用いただくためには欠かすことができません。

定期調律のおすすめ

一年に 1 ～ 2 回の定期的な調律・調整の実施をおすすめします。

ヤマハ特約楽器店では定期調律・調整（有料）を承っております。

納入点検調整の際にお申し込みください。

転居の際に、お申込先がわからないときには、お近くの特約楽器店をご紹介します。

下記ホームページにて最寄のお店をお探しいただくか、お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

<http://yamaha-corporation.force.com/dealers/jp>

設置と取り扱いについて

置き場所について

ピアノに適した環境とは

ご家庭内でのピアノの故障の多くは、湿度が影響したものです。多湿・過乾燥、そして急激な温度変化による結露は大敵です。

日本の気候は平均的にやや多湿の状態です。下記を目安に、冷暖房装置および除湿器などを適切にお選びの上で使用ください。

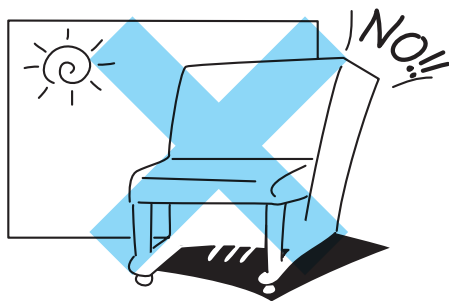
	冬期	夏期
温度	10℃～20℃	20℃～30℃
湿度	35%～65%	40%～70%

アップライトピアノは、壁から離して設置してください

10～15cm 離すのが適当です。
通気性を良くするとともに、音が通るようになります。

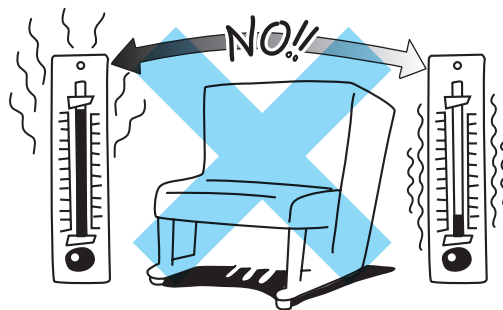
この様なところには置かないでください

長時間、直射日光の当たる場所



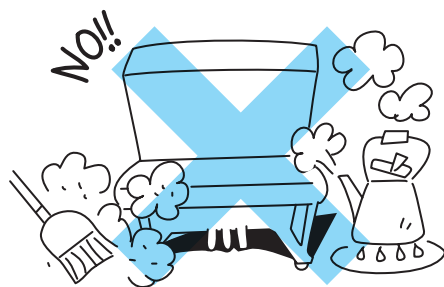
塗装面の変色・変質または部品の反り・割れなどの原因になります。

極端な温・湿度変化の起こる場所



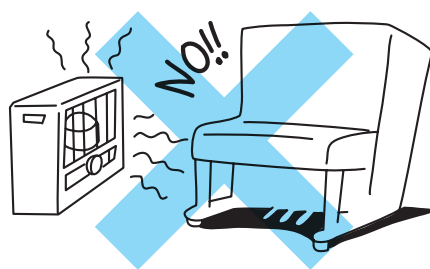
1. 結露により金属部品にサビが生じやすくなります。
2. 各部の変化で調律が狂いやすくなります。
3. 塗装面の劣化、部品の反り・割れの原因になります。

ほこりや湿気の多い場所



1. 鍵盤の動きが悪くなる原因になります。
2. ハンマーが湿気を吸って、音に悪影響が出る場合があります。
3. 弦などの金属部品にサビが生じやすくなります。

過乾燥な場所（暖房が直接当たるような場合）



1. 部品を組立てているネジが緩み、雑音の原因になります。
2. 塗装面の劣化、部品の反り・割れの原因になります。
3. 弦を保持している部分が緩み、調律が狂いやすくなります。
4. 木材やフェルトが収縮し、メカの正常な動きを妨げます。

お取り扱いについて

殺虫剤や揮発性のものをピアノの上に置かないでください



- 家庭用塗料
 - 接着剤
 - ベンジン
 - 殺虫剤
 - マジック
 - 香水
 - マニキュア
 - 整髪料
 - ヘアスプレー
 - ウイスキー
- など

塗装面の変色・変質の原因になります。

塗装面にゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください

- ピアノ椅子（塩ビレザー張り）
 - 塩化ビニール加工をした表紙の本
 - 電気コード
 - プラスチック製の消しゴム
 - プラスチック製のおもちゃ
 - ビニール製品全般
- など

塗装面の変色・変質の原因になります。

鍵盤をアルコール・ベンジンや各種洗剤などで拭かないでください



鍵盤の変質、ヒビ割れの原因になります。

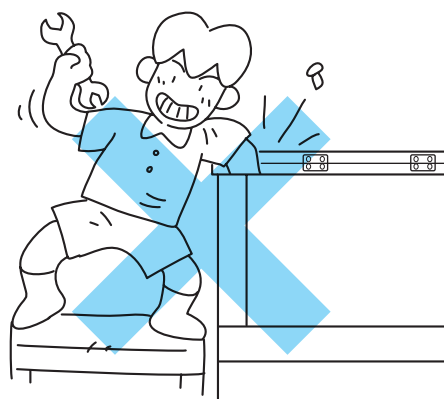
☞ お手入れについては 14 ページをご覧ください。

ピアノの上に水の入った容器（花瓶・鉢など）を置かないでください



水はピアノの大敵です。万一こぼしたりしますとピアノの機能を損なうことがあります。

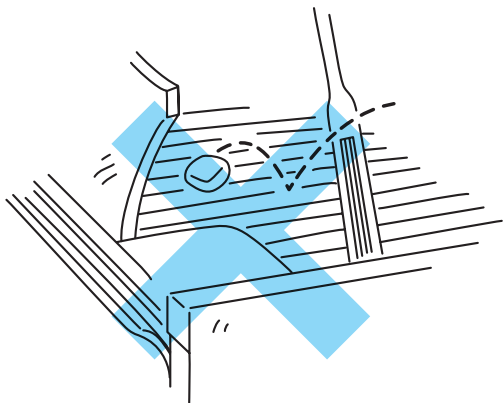
内部の部品に触れたり、内部を改造したりしないでください



ピアノの内部には、調整の必要な部品がたくさん入っています。破損したり、機能を損なったりすることがあります。

ご使用の際には

ピアノの中や鍵盤の隙間にもものを落とさないように注意してください



- クリップ
- 硬貨
- ボタン
- ヘアピン
- 鉛筆
- 消しゴム
- 小さなおもちゃ類

など

鍵盤が動かなくなったり、雑音の原因になります。

ピアノを弾くときは手を清潔に、爪は短く切りましょう



1. 汚れた手で弾くと鍵盤を汚すことになります。
2. 爪が長いと鍵盤の表面を傷つけ、汚れが付着しやすくなります。

ご使用後は鍵盤のお手入れを



🗨️ お手入れについては 14 ページをご覧ください。
お手入れの後は付属品のキーカバーをご利用ください。

ピアノの椅子使用のアドバイス

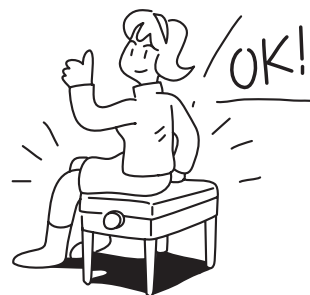
ピアノに付属している専用椅子以外の椅子は、
各々の注意書をご覧ください。

椅子の高さ調整は、両側の回転つまみを持って行ってください



1. 高さ調節機能付の椅子は、両側のつまみを回すことによって高さの調整ができます。
2. 椅子から降りて、両側のつまみを持って調整を行ってください。

ピアノ椅子の高さは各人の適切な高さに調節してください



椅子の高さにより弾きやすさや疲れ方が違ってきます。各人の最適な高さに調節してご利用ください。
付属の高低自在椅子は約6.5cmの高さ調整ができます。

よりよくご利用いただくために

塗装面・鍵盤ともに経年及び使用により消耗・劣化が生じますが、日頃のお手入れにより、よりよい状態を保ってご使用ください。

ご家庭でのお手入れについて…こんな時には、

塗装面のお手入れ

表面にほこりが目立つ時	ピアノ用毛バタキ〈別売〉、または、柔らかい布（付属品など）で軽く拭きとってください。 小さな砂ほこりでも、強く拭くと細かなスリ傷がついてしまうことがありますのでご注意ください。
表面に汚れが目立つ時	水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。 市販の各種洗剤や外装手入れ剤は、塗装面を変質させひび割れなどの原因となりますので使用しないでください。また、化学雑巾は使わないでください。
表面の艶がなくなってきた時	専用の外装手入れ剤を含ませた布でムラなく拭きあげてください。 ヤマハでは、それぞれの塗装に適した外装手入れ剤をご用意しておりますので利用ください。 ・鏡面艶出し塗装（黒／生地）-----ピアノユニコン〈別売〉 ・ナチュラル半艶仕上げ塗装 } ・艶消し仕上げ塗装（特注） } -----ピアノユニコン半艶ローション〈別売〉 ・半艶塗装

鍵盤のお手入れ

白鍵・黒鍵の汚れが目立つ時	水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。 外装の塗装面を拭いた布には、ユニコンなどが付着していますので、鍵盤のお手入れには使用しないでください。 市販の各種洗剤やアルコール・ベンジンなどは、鍵盤表面のひび割れの原因となりますので使用しないでください。
白鍵の汚れが特にひどい時	ピアノキークリーナー 〈別売〉の使用をおすすめします。 この際、黒鍵につかないようご注意ください。 使用後は、キークリーナーが鍵盤に残らないよう、乾いた布で拭き取ってください。 (※ 象牙鍵盤には使用できません。)
コーヒー・お茶などの飲み物やマニキュア、口紅などが付着した時	直ちに水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で拭きとった後、ピアノキークリーナー 〈別売〉をお使いください。

(注) ヤマハでは各種お手入れ用品をご用意しております。お買上げのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。また、ご使用になる際は、各々の注意書に従ってください。

4 音のマニュアル

音への思いやり

美しい音も、時には騒音になります。

私達は、実にさまざまな音に囲まれて生活しています。それらの音が「快い音か、そうでないか」は周りの状況そして聴く人の心理状態によって大きく左右されます。ピアノの音も同様、聴く人の状況に応じて不愉快な音に聞こえる場合があることを理解することが、「音への思いやり」の第一歩です。

ピアノの音の大きさは？

音の大きさの感じ方は、周りの静かさによって大きく変わります。ピアノの音の大きさをご理解いただくために、われわれの身近で発生するいろいろな音の大きさと比較してみました。

音の大きさ (dB)	40	50	60	70	80	90	100
エアコン		■	■				
換気扇		■	■				
洗濯機				■	■		
掃除機			■	■	■		
ピアノ						■	■
ステレオ				■	■	■	
テレビ			■	■	■		
犬の鳴き声						■	■
子供の駆け足		■	■	■			
人の話し声		■	■			■	■
		日常会話				大声	

(「生活騒音の状況と今後の課題」(環境庁)より)

一方、騒音に関して地域および時間帯により区別される、以下のような環境基準があります。

		第1種住宅 専用地域	第2種住宅 専用地域	近隣商業 準工業地域	工業地域
朝	AM6 ~ AM8	40	45	55	60
昼	AM8 ~ PM7	45	50	60	70
夕	PM7 ~ PM11	40	45	55	60
夜	PM11 ~ AM6	40	45	50	55

単位は dB
尚、第1種住宅専用地域以外で、
学校、病院の周囲 50m 以内では
当基準値より 5dB 減が必要

(東京都公害防止条例より)

これらからもおわかりいただけるように、ピアノをご使用の際には、周りへの心づかいが必要です。

特に夜間のレッスンなどは、ご近所へ十分に配慮しましょう。

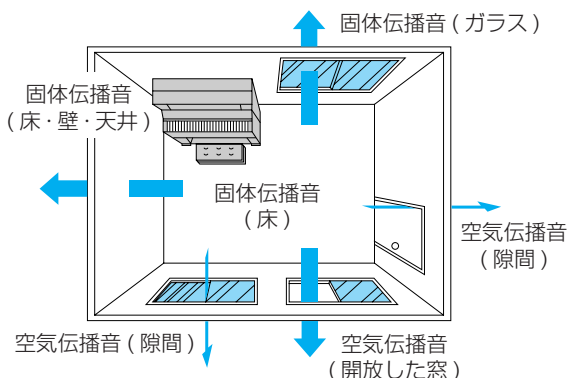
音はこうして伝わります

音を伝わり方で分けると

- **空気伝播音**: ピアノの音がドアの隙間・開けられた窓などから空気を伝わって拡がる音
- **固体伝播音**: ピアノの振動がキャスターを通じて床・壁などに伝わり、それから放射される音

の2種類があります。

ご近所への心づかいを考えると、比較的通気性に富んだ日本式家屋では空気伝播音に、密閉度の高いアパート・マンションなどの集合住宅では固体伝播音に対する工夫が必要です。



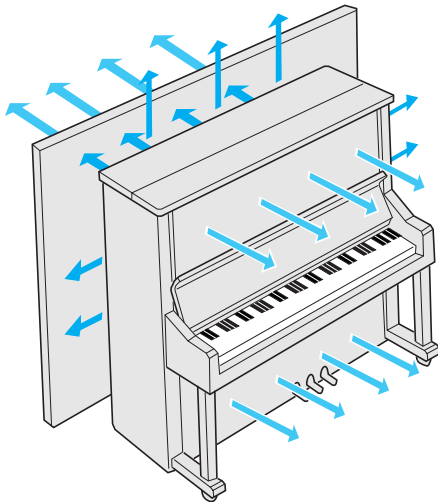
音のマニュアル

アップライトピアノは後方へ、グランドピアノは上下方へ

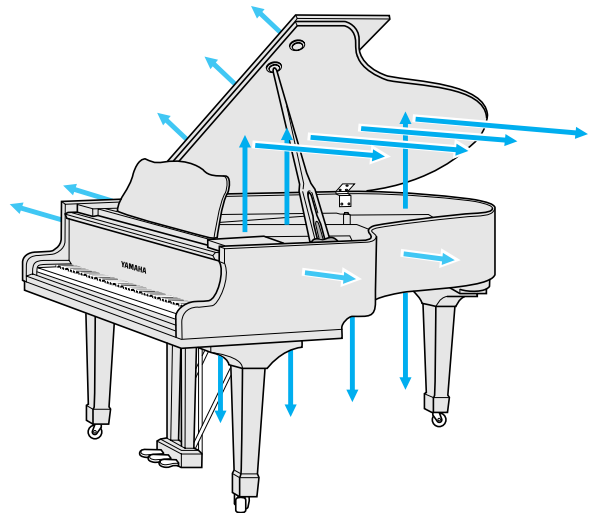
ピアノの種類によって、音の伝わり方にも特徴があります。

- ①アップライトピアノは、裏側から空気や壁を伝わって出る音大きいのが特徴です。
- ②グランドピアノは、上下方向へ伝わる音大きいのが特徴です。

●アップライトの音の伝わり方



●グランドピアノの音の伝わり方



守りたい音のエチケット

ご近所への一言をお忘れなく

ピアノを購入されたら、まずご近所に、ピアノの練習時間帯についてお話しをしましょう。その際ご病人や受験勉強などの事情についても伺っておくと良いでしょう。

ピアノを弾くときは窓を閉めましょう

窓を閉めることによって、ある程度外へ漏れる音（空気伝播音）を防ぐことができます。ピアノを弾くときには窓を閉めることを習慣づけましょう。

夜間の使用には気配りを

夜は誰もが落ち着いた静かなひとときを持ちたいもの。周囲も静かになり、同じ音でも昼間より大きく感じます。夜間にピアノを弾く際は、時間帯や音量そして防音への注意も忘れないようにしましょう。

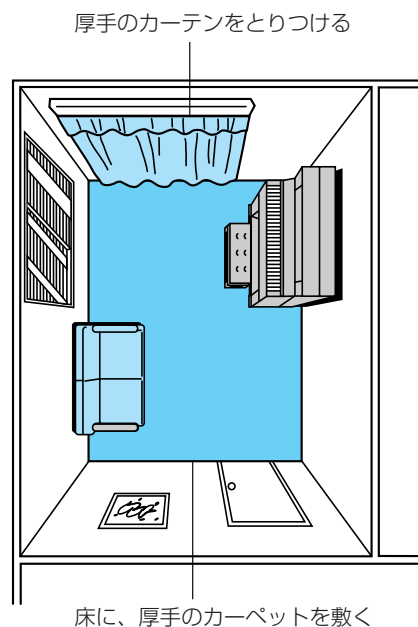
具体的な防音・遮音のヒント

●ピアノの設置場所は

- ・ 直接外壁に接しない場所
- ・ お隣りを基準に考えてできるだけ遠いところ

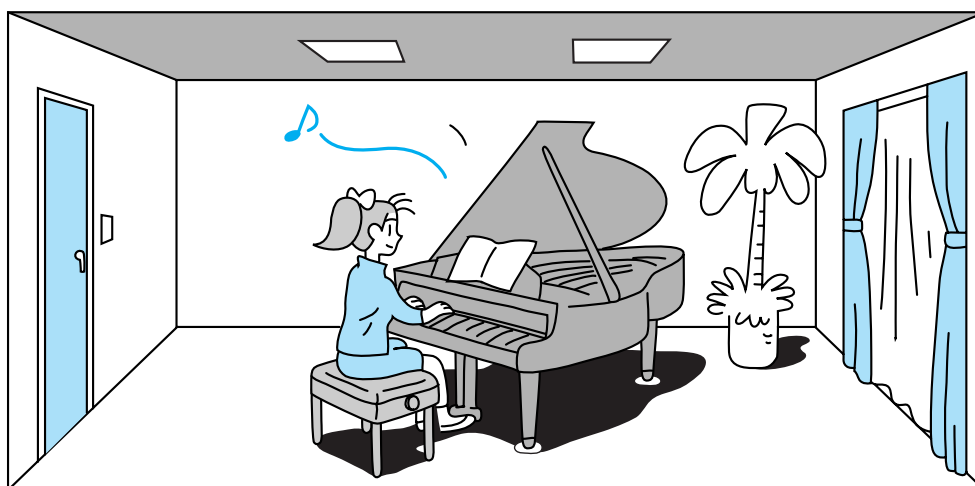
●具体的なヒントあれこれ

- ・ 窓や雨戸を閉める
- ・ カーテンは厚手のものを利用したり二重にする
- ・ マフラー弱音機構を利用する
- ・ アップライトピアノ裏面、グランドピアノ下面に遮音板を取付ける
- ・ 床面に厚手のカーペットを敷く
- ・ 窓や扉の隙間にパッキングを詰める



●ヤマハからのご提案

- ・ 音のヤマハの防音室「アビテックス」
「アビテックス」は、あなたのお部屋を優れた防音効果と快適な音場・ホール音響までも備えた、理想的な音楽の空間に変えるサウンドルーム・システムです。
- ・ その他、防音などの音に関するご相談は、お買上げのヤマハ特約楽器店へお気軽にお問い合わせください。



※ AVITECS/ アビテックスはヤマハ株式会社の登録商標です。

5 困ったな / 故障かな?と思ったら

故障かな?ピアノの状態がちょっとおかしい!というときは、以下の点をチェックしていただき、サービス対応が必要なときは、お買上げの販売店にご連絡ください。

症 状	考えられる原因	チェック・対応
音が出ない 特定の鍵盤の音が出ない。	●湿度の影響などで、アクションの動きの回転軸の役割をするフレンジという部品の動き具合がかたくなった。	ピアノ調律技術者にご依頼ください。 (フレンジの回転の動き具合を調整する)
	●部品の折損	ピアノ調律技術者にご依頼ください。 (折損部品の交換)
音が止まらない 高音の音が全部止まらない。 特定の鍵盤の音が止まらない。	●ピアノの最高音部の約2オクターブの音域には音を止める装置(ダンパー)が取り付けられていません。 これは元来この音域は音の減衰が速いためです。従って、これは正常な状態です。	
	●音を止める装置(ダンパー)のフェルトと弦の密着状態の不具合が考えられます。	ピアノ調律技術者にご依頼ください。 (ダンパー調整で止音状態を改善する)
音が変だ 全体に音がこもって、ぼやけた音がする。音量も極端に小さい。	●マフラー(弱音装置)が掛かっている。	通常のアップライトピアノの場合は中央のペダルを操作して、マフラーを解除してください。
雑音が混じる 特定の鍵盤を弾くと雑音(ブーン、ジーン)が混じる。	●共鳴という現象で、ピアノの内部で起こることもあります。ピアノの音が外部の響きやすいものに共鳴している場合が多い。共鳴の起きやすい品物には、人形ケース・照明器具の傘・カバー・ピアノ周辺の壁などがあります。	雑音が出る鍵盤を叩きながら、ピアノの周囲にある共鳴の起きやすい品物を移動させたり、手で押さえたりして確認してください。不明な場合は、ピアノ調律技術者にご依頼ください。
鍵盤が戻りづらい	●湿度の影響により鍵盤・アクションの調整箇所であるフェルトや木部が微妙に変化し、各部の動きがかたくなったため。	ピアノ調律技術者にご依頼ください。 (フェルトや木部の摩擦具合を調整する)
	●鍵盤の隙間に異物がはさまっている。この場合は2つの鍵盤の動きに影響しています。	2つの鍵盤の隙間を名刺などでさらって、異物を下に落とす。そして、調律時に点検をお申しつけください。改善されなければ、ピアノ調律技術者にご依頼ください。
艶出し塗装の艶がなくなった	●黒艶出し塗装、鏡面艶出し塗装の表面は、艶出し剤(ヤマハユニコン)で艶が出ています。この艶出し剤がとれると光沢が落ちます。	14ページの『塗装面のお手入れ』をご覧ください。
塗装面に傷がある	●ほこりが表面についたまま、擦ったりいたしますと、すり傷が付くときがあります。	恐縮ですが、専門の塗装技術者が修理いたしますのでお申しつけください。修理方法としては、部分的塗装あるいは部品交換をいたします。
		鏡面艶出し塗装の軽微なすり傷は、艶出し剤(ヤマハユニコン)で目立たなくなり、傷の予防にもなります。 手入れ方法については、塗装仕様をご確認の上、14ページ『塗装面のお手入れ』の要領で手入れしてください。

ピアノの手入れ方法 → 14ページをご覧ください。

調律のお申し込みは → お買上げのヤマハ特約楽器店へご依頼ください。

以上は、ピアノのトラブルの一部をご案内させていただきました。

また、症状が同じでも原因・処置が異なる場合がございます。

その他、ご不明の点・お気付きの点は、お買上げのヤマハ特約楽器店へお問い合わせください。

自動演奏装置・消音装置につきましては、別添の『取扱説明書』をご覧ください。

お買い上げいただいたピアノを末永くご愛用いただくために、ヤマハは YCS(ヤマハ・コンサルティング・サービス) と呼ばれる総合的なアフターサービスのシステムを整え、必要とされるサービスをご提供していますのでお気軽にお申し付けください。

- ♪ ピアノに欠かせない調律・調整などのメンテナンス
- ♪ レッスン・楽譜・テキスト・お手入れ用品・防音についてのご相談
- ♪ ピアノの修理・移動、さらには不要となった場合のご相談
- ♪ コンサート情報などの音楽情報のコミュニケーションサービス

これらのアフターサービスのお申し付けおよびご不明な点は、お買い上げのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。

保証書について

- ♪ ヤマハピアノにはブックレットの中に保証書が入っています。保証書は必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。
保証書に販売店名、お買い上げ日などの記載がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に有料となることがありますので、十分ご注意ください。
- ♪ 保証書はよくお読みの上、大切に保管してください。(保管場所は 6 ~ 7 ページをご覧ください)
- ♪ 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- ♪ ピアノ内部の改造などにより機能が損なわれた場合、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に有料となることがあります。また、機能の回復ができない場合もありますのでご注意ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたい内容

お名前	
ご住所	目印など
電話番号	連絡にご都合の良い時間帯および悪い時間帯
製品名・品番・ご購入日	例: アップライト・品番〇〇・〇年〇月〇日
故障内容	できるだけ詳しくお願いします。
訪問ご希望日	ご都合の悪い日も併せて

製品名・品番・お買い上げ日などにつきましては、お手元の保証書をご覧ください。

保証期間中の修理

保証書の規定に従って、お買い上げいただいたヤマハ特約楽器店が修理いたします。お買い上げ店にご依頼になれない場合には、お近くの特約楽器店をご紹介します。下記ホームページにて最寄のお店をお探しいただくか、お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

<http://yamaha-corporation.force.com/dealers/jp>

保証期間経過後の修理

お買い上げのヤマハ特約楽器店にご相談ください。修理によって機能が維持・回復できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年間です。

ヤマハ ピアノサービス網

●ピアノの機能や取り扱いについてのお問い合わせ

最寄りの特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

■ お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-003-808

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は 053-460-4835 へおかけください。

受付時間： 月～金 10:00～18:00
土 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の定休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

●ピアノの調律・修理についてのお問い合わせ

お買い上げいただきましたヤマハ特約楽器店へお問い合わせください。

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。